令　和　元　年　度

関東学生バドミントン新人選手権大会

期　日　2020年 2月7日(金)≫2月29日(土)

会　場　葛飾区総合スポーツセンター、市川塩浜体育館、千葉大学西千葉キャンパス体育館、都立小岩高校体育館

◆主催･主管：関東学生バドミントン連盟
◆後　　援：東京都バドミントン協会

KANTO Student Badminton New face championship 2020

ステータス(贅沢さ)にお金をかける必要のないバドミントンクラブの皆様に

国内唯一のシャトル専門メーカーRSL
あなたのクラブの予算はもっと改善できる!

学校部活とクラブに常時納品。練習シャトルの決定版!
全国約7,000の高校・中学のうち3校に1校以上の利用実績

このシャトル『RSL1999Yen』は、全国各地のバドミントンクラブ代表者や顧問の先生方から5年以上に渡りいただいた熱い要望により開発されました。世界最大RSLシャトル工場1,000人の熟練スタッフがそれらの声に動かされて生まれたスーパーリーズナブル練習球です。

この価格でこの飛行性能と耐久性能を持つメーカーが他にあるなら教えていただきたいくらいです。特に、全国の高校・中学校の部活が何度もリピート購入することからも、このシャトルの満足度の高さは折り紙つき。

社会人バドミントンクラブと比べ、毎日のように練習するためシャトル消費量が圧倒的に激しい学校部活。全国約7,000のバドミントンが活発な高校・中学校のうち、なんと3校に1校以上の利用実績があります。

RSL1999Yen
予算を最も効果的に使える練習球の決定版
価格 1本 **2,199円**(税込) (1999円+税)

● 強化シャトルコックの“パイオニア”

RSL(Reinforced Shuttlecock Limited)は、1928年に英国ロンドンで創業しました。当時は小さな会社です。そんなRSLがバドミントンの世界で注目を集めたきっかけは、たった1本の糸。シャトルの羽根を固定するためのかがり糸です。20世紀前半のシャトルは、かがり糸を１段だけ巻くのが常識。しかしRSLは、それとは異なり、かがり糸をもう１段増やした「強化シャトル」の製造を開始。バドミントン界に強烈なインパクトを与えました。今でこそ当たり前のシャトルの形が生まれた瞬間でした。

▶ 世界最大規模シャトルプロデューサー

❶ RSLは、世界市場の30%以上の水鳥原毛を確保しています。
❷ RSLは、他メーカーと違い自社工場で一貫生産しています。
❸ RSLは、すべてをシャトルだけに注ぐ専門メーカーです。

詳しくはホームページの動画をご覧くださいませ
RSLショップ 検索

お電話でのご注文も受け付けています。(無料通話ダイヤル)
フリーコール **0800-888-4088** 携帯・スマホからでもOK
選べるお支払い方法 代金引換 コンビニ 郵便振替 銀行振込
安心の後払い 領収書発行OK

● RSL水鳥シャトルコック 商品ライアップ

NO.1ターニー
90年以上の歴史が証明。世界の最前線!
世界中で愛用されているNO.1ターニー。バドミントン大国のアジア各国だけでなくヨーロッパ全土でも活躍。その歴史の始まりは1928年。その後、何世代ものプレーヤーに引き継がれている、まさしく世界の主流。
日本バドミントン協会 第1種検定合格球
価格 1本 **3,630円**(税込)

シルバーフェザー
実戦感覚磨く!強豪クラブの必需品
RSLシャトルの最大の特徴である耐久性(丈夫さ)が感じやすいのがこのシルバーフェザー。大会試合球に必要な飛行性能はもちろん、試合後の練習球として再利用できる点は見逃せません。実戦練習中心のクラブへ。
日本バドミントン協会 第2種検定合格球
価格 1本 **3,300円**(税込)

ファーストステップ
耐久性重視練習球。不動のロングセラー
あらゆるシャトルの品質レベルを独自調査。この価格帯では不可能と思えた耐久性を武器に、15年以上常に売れているのがこのファーストステップ。消耗品であるシャトルの頻繁な購入に悩まされているクラブへ。
15年超の実績!RSLの国内浸透支えた立役者
価格 1本 **2,585円**(税込)

シャトルファイター
打球感重視練習球。RSL社唯一の天然ベース
シャトルファイターは、天然コルクベースを使って製造した打ち応えを重視した一般練習球。社会人クラブ・学校部活で愛用されています。特に、密度の濃い基礎打ち練習を行っているクラブにお薦めです。
使用クラブの86.6%が満足!打感と節約両立
価格 1本 **2,420円**(税込)

【令和元年度】

関東学生バドミントン新人選手権大会

2020年 2月7日(金) ～ 2月29日(土)

主催 関東学生バドミントン連盟

後援 東京都バドミントン協会

目　次

挨　　拶 …… 2
大会要項 …… 4
大会役員 …… 5
競技・審判上の注意 …… 6
ＡＭＴ・ＢＭＴ …… 8
ＡＷＴ・ＢＷＴ …… 9
Ａブロック上位 …… 10
Ｂブロック上位 …… 11
ＡＭＳ …… 12
ＡＷＳ …… 14
ＡＭＤ …… 16
ＡＷＤ …… 17
ＢＭＳ …… 18
ＢＷＳ …… 22
ＢＭＤ …… 24
ＢＷＤ …… 26
選手名簿 …… 27
日　　程 …… 34
会場案内 …… 35
当番校表 …… 36

ご　　挨　　拶

関東学生バドミントン連盟

会長　平　野　泰　宏

新年を迎え、関東学生バドミントン連盟が主催する最初の大会となる関東学生バドミントン新人選手権大会が、千葉県市川市塩浜体育館、東京都葛飾区水元体育館をはじめ、千葉大学及び東京都立小岩高等学校体育館を会場に開催される運びとなりました。本大会が開催できますこと大変喜ばしく思います。

本大会は、昨年度まで１１月の平日を主な開催日として運営されて参りました。しかし、学生の本文である学業との両立が難しく、出場者数の減少と棄権者数の増加傾向が続いている状況がありました。関東学連といたしましては、より多くの学生の出場機会を確保し、大会を盛り上げたいという思いで議論を重ね、学業との両立を図りやすいと思われる２月に開催するという結論に至りました。この決断には、年をまたぐ大変な大会準備に覚悟を決めた学連学生の熱い思いが込められております。この場をお借りして学連学生諸君に対して敬意を表したいと思います。このように、学連主催の大会は学生が自ら作り上げ、盛り上げていく大会となります。大会に出場される選手諸君においては、多方面からご支援・ご尽力をいただいた皆様に対する感謝を忘れることなく、普段の厳しい練習の成果を披露する最高の舞台となるよう、マナーを遵守し、溌溂としたプレーを期待しております。

話は変わりますが、今年は２０２０東京オリンピックがいよいよ開催されます。日本バドミントン協会から昨年１２月１０日に発表された２０２０年日本男子B代表に、関東学連登録選手の中から小野寺雅之選手・大林拓真選手・緑川大輝選手（早稲田大学）、山下恭平選手（日本体育大学）、田中湧士選手（日本大学）の５名が選出されました。これら選手には関東学連の代表として、世界の舞台で大いに活躍し、２０２４年オリンピックパリ大会を見据えて頑張っていただきたいと願っております。

最後になりますが、大会の開催にあたりご支援・ご協力を賜りました関係各位の皆様に深くお礼と感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご　　挨　　拶

関東学生バドミントン連盟

委員長　金　子　瑠　奈

令和元年度関東大学バドミントン秋季リーグ戦が終了し、少し期間が空きましたが、本年度も残すところ今大会の令和元年度関東学生バドミントン新人選手権大会のみとなりました。本年度は約四週間にわたり、市川塩浜体育館、葛飾区水元体育館、千葉大学、小岩高校の四会場において開催されます。

本大会では、春季・秋季リーグ戦とは違う二複一単で行う団体戦と、個人戦が行われます。１・２年生が中心となるためリーグ戦などで出場機会が少ない選手は、自分自身をアピールし来年以降の大きな弾みになる大会になればと思います。去年まで１１月に行っていた新人戦を２月に変更したことによって参加人数が増え、各試合とも日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、多くの熱戦が繰り広げられることと期待しております。また、長期にわたる大会でありますので、体調管理及び怪我には十分注意し、選手の皆様が無事に日程を終了されることを祈っております。

最後になりましたが、今大会の開催にあたり、ご多忙の中にも関わらずご支援、ご協力いただいた関係者各位の皆様に心より感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

大　会　要　項

1．主催・主管	関東学生バドミントン連盟
2．後　　援	東京都バドミントン協会
3．協　　賛	ヨネックス株式会社、ミズノ株式会社、(株）ＲＳＬジャパン、薫風スポーツ株式会社、ラケットショップフジ、(株）ベースボールマガジン社、(株）アスリートプランニング A.M.E シャトルセンター、バドミントンプロショップ WEMBLEY
3．期　　日	２０２０年　２月７日～２月２９日
4．開 催 地	東京都・千葉県
5．日　　程	団体各種目：日程未定 個人戦各種目：日程未定　＊申し込み状況を鑑みて、後日日程表を掲載いたします。
6．会　　場	葛飾飾区総合スポーツセンター、市川塩浜体育館、千葉大学西千葉キャンパス体育館 都立小岩高校体育館
7．種　　目	団体戦　男子・女子　A・B　２複１単（登録選手４～７名） 個人戦　男子・女子　単・複　A・B
8．競技規則	２０１９年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程による
9．競技方法	各種目トーナメント方式とする
10．使用用器具	（1）(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具 （2）２０１９年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥球
11．参加資格	（1）２０１９年度(公財)日本バドミントン協会会員登録を完了している者 （2）２０１９年度全日本学生バドミントン連盟及び関東学生バドミントン連盟登録を完了している者 （3）個人戦については過去にＡブロック出場経験のある者、関東学生バドミントン選手権大会及び、関東学生バドミントン新人選手権大会においてＢブロックでの優勝経験がある者はＡブロックのみ可。ただし、団体戦に関してはその限りではない。また個人戦の単複出場は同一ブロックに限る。
12．参加制限	（1）２０１９年度会員登録時点（4月）で、登録年数が２年目までであること。 （2）団体戦においては、１大学につき各種目２チームまでとする。
13．参　加　料	（1）参加料　団体戦　１チーム　A・Bブロックともに５，０００円 個人戦　単　A・Bブロックともに２，０００円 複　A・Bブロックともに４，０００円 （2）振込先　払込取扱票参照。 ※振込期日　２０２０年１月１４日（火）～１月３１日（金）
14．申し込み締切日	２０２０年１月１５日（水）２３：５９必着
15．申し込み方法	別紙参照
16．表　　彰	各種目、３位まで表彰する
17．大会事務局	〒２２７－００３３ 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町５６０－５　サンヒルズ金子３０３ 関東学生バドミントン連盟　　委員長　金子 瑠奈　　℡：090-6199-9118
18．着　　衣	色付き着衣を使用する場合は、競技の品位を保つために、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウエアの背面には大学名を必ず明示すること。また、ゼッケンを使用する場合は必ず４隅を固定すること。
19．備　　考	（1）UBF（関東大学サークル連盟）登録者の出場は認めない。 （2）団体戦のメンバーの登録は規定人数内であれば試合当日所定の時間までにメンバー変更用紙を提出することにより選手の削除、入替、追加を認めることとする。ただし、チーム間での入れ替えは認めない。 （3）団体戦時、登録メンバーの他、申請された部長・監督・コーチ・主将・主務のベンチ入りを認める。ただし、ベンチがある場合であり椅子の数までとする。 （4）事故があった場合、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。 （5）病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。 （6）大会参加に関して提供される個人情報は、本大会活動に使用するものとしこれ以外の目的で使用することはありません。

注．関東学生バドミントン連盟からのお願い

（1）ゴミの持ち帰りにご協力ください。

（2）喫煙は決められた所定の場所で行うようにしてください。

（3）近隣のスーパーなどへの違法駐車は、絶対にしないでください。なお、OB/OG 及び選手親族などの関係者についても、当該大学が責任をもって対応してください。

以　上

大　会　役　員

大会会長	関東学生バドミントン連盟	会長	平野泰宏
大会副会長	関東学生バドミントン連盟	副会長	大東忠司
	関東学生バドミントン連盟	副会長	吹田真士
	関東学生バドミントン連盟	副会長	平井克英
	関東学生バドミントン連盟	副会長	升佑二郎
	関東学生バドミントン連盟	副会長	渡辺英次
名誉顧問	伊藤栄治	齊藤健司	林忠男
	鈴木克彦	本橋重康	宮崎伸一
	石黒太郎	潮田道夫	坪井雅史
	富岡義志雄	小沢和浩	渡辺英次
	石田博之	笹生心太	石井香世子
	趙鏞吉	浅沼市男	久保賢師
参与	全日本学生バドミントン連盟	委員長	園原昇真
	全日本学生バドミントン連盟	会計	日山美佳
大会委員長	関東学生バドミントン連盟	委員長	金子瑠奈
大会副委員長	関東学生バドミントン連盟	副委員長	井村友哉
	関東学生バドミントン連盟	副委員長	三澤勇人
大会役員	鴨下希穂(日体大)	片桐悠夏(早稲田)	高橋慶(日大)
	高野拓朗(日体大)	五島あかり(日体大)	日野慈人(日大)
	湊彩華(東女大)	阿部文哉(法政大)	佐藤優太(神大)
	伊藤汐里(日体大)	川上明香(日女大)	國分俊秀(法政大)
	齋藤晃輝(法政大)	中島美咲(大妻女大)	
	川合光	金子元彦	佐藤健一郎
監事	兒嶋昇	一寸木邦夫	
学連顧問	園原昇真	日山美佳	
競技役員長（レフェリー）	関東学生バドミントン連盟	副委員長	井村友哉
総務部長（デュピティーレフェリー）	関東学生バドミントン連盟	委員長	金子瑠奈
総務副部長	関東学生バドミントン連盟	会計	鴨下希穂
競技審判部長（デュピティーレフェリー）	関東学生バドミントン連盟	副委員長	三澤勇人
競技審判副部長	関東学生バドミントン連盟	常任委員	阿部文哉

競　技　・　審　判　上　の　注　意

１．競技上の注意

１）競技規則

本大会は、平成31年（令和元年）度公財日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規則、同公認審判員規程により行います。

２）メンバー変更

チーム構成員のメンバー変更は、団体戦各種目１回戦が行われる日の９時１５分までとし受付時に提出してください。なお、用紙は事前にホームページからダウンロードしてください。

３）オーダー用紙

オーダー用紙は「提出用」×２枚「控え用」×１枚を配布します。各試合前の、オーダー提出締め切り時間までに本部まで提出してください。なお、オーダー提出が遅れた場合には、棄権とみなします。また、各大学との交換分は試合開始の整列時に主審よりお渡しします。

４）ベンチ入りメンバー

ベンチ入りは、登録してある選手のみとします。

５）試合の順序および打ち切り

団体戦は、**第１複－第２複－第１単**の順で行いますが、勝敗決定後は並行試合を含むすべての試合を打ち切りとします。

６）選手の集合

各大学、各選手は受付時間に受付を済ませ、試合のコールで指定されたコートに集合することとします。なお、試合のコールまではフロアーにはおりないでください。また、コール後、５分経過しても指定されたコートに集合しない場合には棄権とみなします。事前に棄権することがわかっている場合には、受付時に棄権届を受け取ってください。記入を済ませ、すみやかに本部へ提出してください。

７）試合前の練習時間

団体戦・個人戦共に、各試合ごとに２分間までの練習を認めます。ただし、練習は対戦者同士（ダブルスの場合は、パートナー同士）で行ってください。この時間は、主審が計測します。なお、空きコートや体育館のフロアーでは、素振り等の練習もご遠慮ください。

８）着衣

競技中、色付き着衣を使用する場合は、競技の品位を保つために(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とします。上衣の背面には所属する大学名がはっきり確認できるように、正式名称で明示することとします。また、ゼッケンを使用する際には、横30cm・縦15cmのサイズを基準とし、捲れたり、とれたりしないように４隅をしっかりと固定することとします。

９）インターバル

すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバル、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。このとき、選手はコートから離れたり、アドバイスを受けたりすることができますが、競技区域でアドバイスできるのは２人までです。また、コートを離れる場合には、必ず時間内に戻ってきてください。

10）連続試合の間隔について

連続試合の場合は、団体戦・個人戦ともに全試合終了後15分はあけるものとします。ただし、団体戦において、第２複と第１単を兼ねている場合にはこの限りではありません。試合を並行した場合で、第１複と第１単を兼ねていた場合には15分はあけるものとします。

11）競技規則違反者（チーム）への対応

競技規則等に違反した者（チーム）の処分は、大会本部で協議の上、決定します。

２．審判上の注意

１）審判の担当

各日、初回のみ対戦校同士で当該校以外の試合の審判を行ってください。審判の担当は、放送でコールしますので、放送には十分ご注意ください。また、２回目以降の試合は、敗者審判制度とします。敗者の大学は主審１名・線審２名と得点表示員１名（得点板がある会場のみ）の計４名を必ず用意してください。

２）主審への助言

①試合の始め方

主審は、本部からスコアシート、シャトル等を受け取りコートに向かいます。選手を集め、挨拶とトス（じゃんけん）を行います。その後、練習時間２分間を計測してください。

②インターバル

一方のサイドが11点になったときのインターバル60秒はスコアのコールと同時に、ゲームとゲームの間のインターバル120秒は「ゲーム」のコールと同時に計時します。

③サービス時の判定

ショートサービスライン、センターラインの判定と、サービスフォルト、レシーバーのフォルトを判定してください。

④その他の注意

・汗ふき、水分補給は主審が必要だと判断する場合には認めてください。
・線審が明らかに間違った判定をした場合には、コレクションをしてください。
・選手より棄権の申し出があったときや、判断できないことがあるときには、手を挙げて競技役員長（レフェリー）を呼んでください。

３）線審への助言

線審は、担当ラインを判定してください。また、他の影響を受けないようにしてください。

３．その他の注意

１）部旗の掲示

部旗は競技に支障をきたさない大きさのものを使用することとし、施設保護のためガムテープの使用は禁止とします。また、状況によって移動をお願する場合もあります。

２）ビデオ撮影

競技会場に限り、ビデオ撮影は認めますが、撮影の際は内蔵のバッテリーを使用することとし、体育館の電源は使用しないでください。

３）怪我について

応急処置は行いますが、その後の責任は各参加者の負担とします。傷病発生の場合は必ず大会本部に届け出てください。

４）ごみについて

ごみは、各自で必ず持ち帰ってください。回収はいたしません。

５）飲食について

アリーナ内での飲食は一切禁止とし、ベンチ内での給水は蓋つき容器のみ使用を認めます。

６）喫煙について

会場内での喫煙は指定された場所のみ可能とし、その他の場所は禁煙とします。

７）会場使用上の注意

アリーナ内は土足禁止とし必ずシューズを着用してください。**ロージン・雑巾。氷嚢等をフロアー内に持ち込む場合は、床を保護する物を下に敷いてください。また、フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止しますが、ラケットバッグに入る程度の小さなクーラーバッグは持ち込みを認めます。ただし、万が一床を濡らしたり汚した場合には、すみやかに清掃してください。**

ウォーミングアップについては、体育館の共用スペースでは一切行わないでください。それ以外の場所でも、ストレッチ程度は認めるがラケットを使用してのウォーミングアップは禁止とします。なお、会場使用上の注意は、記載事項以外にも当日放送する場合もあります。放送には十分注意し、遵守してください。※千葉大学は学生の車での入校は禁止です。